

# 肉食のサンゴ？

<sup>あざ</sup>色鮮やかなジュウジキサンゴ。

実は彼らは肉食の動物なのです。

鮮やかな色彩のジュウジキサンゴやイボヤギの仲間。彼らはサンゴなのに肉食なのです。

サンゴという<sup>しょう</sup>とサンゴ礁をつくるサンゴ<sup>ぞうしょう</sup>(造礁サンゴ)を思い浮かべる人が多いでしょう。彼らは体の中に<sup>そうい</sup>藻類(褐虫<sup>かつちゅう</sup>藻<sup>そう</sup>)を共生させていて、そこから栄養をもらって生きています。そのため、ほとんど食事をしません。

それに対して、ジュウジキサンゴの仲間<sup>ひぞうしょう</sup>は、非造礁サンゴと呼ばれるグループで、体の中に藻類を共生させていません。そのため、大きな<sup>しよくしゆ</sup>触手を水中に広げて、プランクトンなどを捕まえて食べています。

ジュウジキサンゴを飼育していると、かなり大きな獲物でも捕まえることができます。自然界でも時には大物を捕まえるのかもしれませんが。

## 造礁サンゴの仲間



キクメイシ



シコロサンゴ

造礁サンゴは体の中に藻類を共生させており、そこから栄養をもらっているため、ほとんど食事をしない

## 非造礁サンゴの仲間



イボヤギ



ジュウジキサンゴ

藻類と共生していないので、エサを捕まえて生活する

## ジュウジキサンゴの食事



オキアミを捕まえたジュウジキサンゴ(矢印)。大きな獲物でも捕まえることができる。